

**12月
OPEN**
(予定)



伸びゆくまち・桑名

第19弾 桑名市健康増進施設 『神馬の湯』

桑名のまちづくりが進んでいく様子をシリーズ化してお伝えしていきます。



桑名市長
伊藤 徳宇

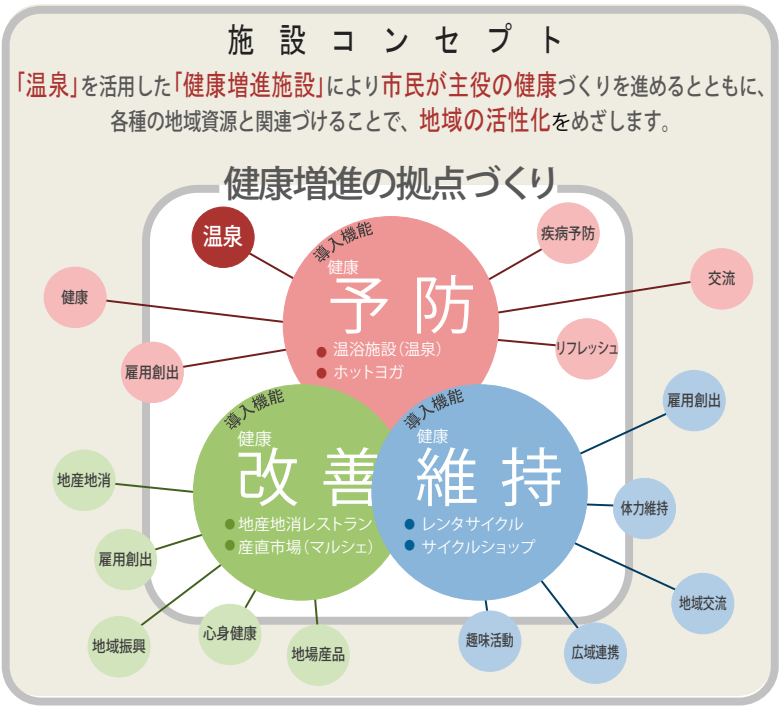
市では、市民一人ひとりの健康寿命を伸ばす取り組みを行うとともに、生きがいをもって住み続けられるまちづくりをめざしています。12月のオープンに向けて建設中の神馬の湯は、「予防を重視した市民が主役の健康づくり」を目的とし、公民連携によって進めている事業です。市が施設建設のための土地を貸し出し、賃料（収入）を得ながら、税金を使うことなく、建設から運営までを民間（鳶井株式会社）の力を生かして行います。健康づくりのために多くの人が利用していただき、人が集い交流する新たなまちの拠点となることを期待します。

『神馬の湯』由来

この健康増進施設は、多度大社の近くにあります。かつて、多度大社にあった神宮寺の施設として湯屋があったと文献が残っていることや、歴史ある多度大社の上げ馬神事、白馬伝説にあやかり、この施設は「神馬の湯」と命名されました。

予防を重視した温浴施設

「健康予防」を中心に、自ら健康を改善する「健康改善」と、自らが健康を維持する「健康維持」の3つの機能が備わった健康増進の拠点づくりを行います。



神馬の湯の楽しみ方

1F



① 地産地消レストラン

地元の旬の食材を活用するとともに、フードコーディネーターにより、「地産地消」「健康増進」をテーマとした魅力あるメニューの開発を行い、健康的な体づくりを応援するレストランです。



② 交流スペース

産直市場（マルシェ）、朝市、フリーマーケットなど、地域の人にも利用いただけるスペースとなっています。

産直市場（マルシェ）

地場の自然食につながる新鮮な野菜などが購入でき、地域の人が集う産直市場（マルシェ）を設置します。

連携交流スペース

地域の団体などと連携しながら、ウォーキング大会や体操など、健康の維持につながる催しを行い、活気ある施設とします。



③ イベントスペース

イベントを開催し、四季に合わせたサービスを提供することで、健康の維持や改善につなげます。

地場産品ショップ

産直市場（マルシェ）に併設し、地域で加工、製造された地場産品を集め、販売するコーナーを設けます。

サイクルサービス

多度山をサイクリングする人たちが集う拠点として、レンタサイクルやサイクルショップなどを備え、自転車を利用した健康維持を促進します。



④ 温熱健康ゾーン

（ロウリュウ岩盤浴・ホットフロアなど）

日本古来の蒸し風呂をイメージし、独自に開発する温浴アイテムやホットヨガなど、さまざまなタイプの温熱健康施設を設置し、デトックス（体内浄化）、アンチエイジング（抗加齢、抗老化）などの効果が期待できます。

2F

温浴施設

地域資源である天然温泉を活用した健康増進の拠点づくりをめざします。露天風呂にはロケーションを最大限に生かした浴槽を配置し、多度の自然を眺望できる抜群な景観を提供します。大きな解放感を得ることができ、精神的な癒しの効果を図ります。



●は健康予防、●は健康改善、●は健康維持です。

写真はイメージです。

問 政策創造課（☎ 24-1463 FAX 24-1412）